

令和4年度の事業報告

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人  
バーチャルメディア工房ぎふ

1. 事業の成果

令和4年度もコロナ禍による景気低迷の中、受注業務の減少が考えられたが新規契約業務や継続業務があり大きな落ち込みは見られなかった。また新たな分野である、動画コンテンツ制作や車いすユーザーのためのバリアフリーツアー企画・運営などにも取り組み、今後の事業内容の発展が期待できる。障害当事者による動画コンテンツの情報発信は、障害者の社会参加を促し、精神的リハビリに貢献できるものとする。

今年度の新規ワーカー応募者は、コロナの影響もあってか少なく、また応募者にはワーカー登録の技術レベルに達していないこともあり登録者はいなかった。既存のワーカーに対しては、リモート会議システムなどの定着より、業務打ち合わせ、ミーティングや技術研修にこれまで以上に活用し、新たなコミュニケーション手段として効果的に利用できるようになってきた。

障害者雇用の多様化、障害者の仕事に対する思いへの多様化が進むなかではあるが、障害当事者による運営・実施を行なっている当法人としては、社会参加、社会貢献への同じ思いのある障害者への支援活動を継続できたことの意味は大きいと考える。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額(概算) (単位:千円) 10,087																														
<p>1 就労支援事業</p> <p>① 障害者の経済的自立を支える就労支援事業</p> <p>④ 障害者の実務教材による就労指導と技術サポート事業</p>	<p>1) バーチャルメディア工房事業</p> <p>(1) 在宅就業障害者(登録ワーカー)の募集並びに選考</p> <p>① 募集 今年度も、登録ワーカーの募集・選考にあたり、従来からの選考基準を大きく変えることなく一人でも多くの障害者が就労(業)の場に参加出来るよう普及・啓発・広報活動に努めた。昨年に続きコロナ禍を顧慮し、選考過程での面接にオンラインによる実施も含め対応をした。</p> <p>② 応募・選考状況 &lt;R4.4.1~R5.3.31&gt; (名)</p> <table border="1" data-bbox="331 1025 858 1200"> <thead> <tr> <th></th> <th>身体</th> <th>知的</th> <th>精神</th> <th>難病</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>問合わせ</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>選考試験</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>登録者</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>予備軍等</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ On-Line にて面接を実施</p> <p>(2) 登録ワーカーに関する相談及び研修 相談及び研修の実施に当たり、 ・実務を通し業務を行う中、浮かび上がってくる課題への対応とサポート ・社会の動向にあわせ必要な技術の習得のための研修の実施 ・企業や他機関・団体等との共同・協同・協働の考え方の必要性に対し、登録ワーカーのマネジメント能力の育成を軸に取り組みを実施。</p> <p>① 定例ミーティングの開催(コロナ禍を顧慮し、オンラインにより実施) 業務内容・業務の遂行、ワーカー間の交流・情報交換等を目的に開催</p> <p>② 研修・勉強会の開催(コロナ禍を顧慮し、オンラインにより実施) ・セキュリティ対策についての研修(勉強会)(R4.10.27) ・印刷業務事例研修(R5.3.2)</p> <p>(3) 就労管理業務 ・業務の受託(県・市・町・村、社協・関係機関、企業、他の援団体等) ・登録ワーカー等への業務の受注から配分、管理・納品等実務を通し、スキルアップをはかるための指導・技術的サポートを実施。 ※今年度も発注者との業務打合せの場に担当ワーカーにも参加、発注者がみえる形で業務に対応できるよう進捗管理・指導・サポート面での対応を強化・充実し、ワーカーのスキルアップにつながるよう努めた。</p> <p>(4) 相談・支援・指導業務</p> <p>① 障がい児者・家族・保護者会等からの雇用・就労、生活全般に関する相談(自助具等もの作り支援の橋渡しを含む) / 50件</p> <p>② 事業所等からの障がい者雇用、採用後の人事管理面にお</p>		身体	知的	精神	難病	計	問合わせ	3	2	1	4	10	選考試験	-	-	-	-	1	登録者	-	-	-	-	-	予備軍等	-	-	-	-	-	<p>(A) 随時 (B) 法人事務所 (C) 3人</p> <p>(A) R4.4.1.~R5.3.31 (B) 法人事務所 (C) 2人</p> <p>(A) 随時 (B) 法人事務所及びワーカー自宅ほか (C) 2人</p> <p>(A) R4.4.28/6.23/8.25/10.27/12.22/R5.3.2 (B) 法人事務所及びワーカー自宅 (C) 2人</p> <p>(A) 左記の通り (B) 法人事務所及びワーカー自宅 (C) 2人</p> <p>(A) 随時 (B) 法人事務所・職員自宅並びにワーカー宅 (C) 2人</p> <p>(A) 随時 (B) 法人事務所ほか 相談者の指定場所 (C) 2人または外部機関・支援者</p>	<p>(D) 就労(業)を希望する障害者 (E) 不特定多数</p> <p>(D) 在宅ワーカー希望者 (E) 1名</p> <p>(D) 法人に登録する在宅ワーカー (E) 10名+α</p> <p>(D) 在宅ワーカー (E) 7~10名</p> <p>(D) 在宅ワーカー (E) 7~10名</p> <p>(D) 登録在宅ワーカー・社会参加・職業的自立を目指す障害児者&amp;家族・支援機関・団体・行政担当者ほか (E) 不特定多名</p> <p>(D) 就労始め社会参加・自立を目指す障害児者と家族・支援・事業主ほか (E) 不特定多数</p>	<p>4,541</p>
	身体	知的	精神	難病	計																													
問合わせ	3	2	1	4	10																													
選考試験	-	-	-	-	1																													
登録者	-	-	-	-	-																													
予備軍等	-	-	-	-	-																													

	<p>ける対応、在宅就業等に対する相談への対応とサポート／18件</p> <p>③ その他(特別支援学校・行政・大学・機関・団体・支援者)からの問い合わせ及び相談／16件</p> <p>④ ICT/ATに関する相談・支援(含、企業・研究機関からの開発参加に関する相談等)／9件</p> <p>2) 在宅就業支援団体(厚生労働大臣登録 2100001号)としての活動</p> <p>(1) 就労管理業務 障害者の雇用・就労、在宅就業等に対する相談への対応とサポート</p> <p>(2) 厚生労働省との調整・連携と情報交流</p> <p>(3) 全国の支援団体との情報交換と連携の強化 ・「障がいのある方の全国テレワーク推進ネット」への参加と連携・協力</p> <p>① 定例 On Line 会議への参加(4/3、5/12、9/7)</p> <p>(4) 障害者の在宅就業支援を始めようとする機関・団体等からの問い合わせや相談、見学等の対応</p> <p>(5) その他</p> <p>① 「障害者優先調達推進法」(厚生労働省 H25. 4. 1. 施行)の普及・啓発活動</p> <p>② 在宅就業支援団体(厚生労働大臣登録 2100001)の普及・啓発活動</p>	<p>(A) 随時</p> <p>(B) 法人事務所ほか</p> <p>(C) 2人+ 国・県・連携団体・支援企業ほか</p>	<p>(D) 就労始め社会参加・自立を目指す障害児者と家族・支援機関・団体ほか</p> <p>(E) 不特定多数</p>	
<p>2 人材育成事業</p> <p>② 障害者のIT活用による社会参加の支援と人材育成事業</p>	<p>※ 今年度も人材育成及び資格取得研修(福祉メディアステーション受託分事業)の休止。</p> <p>重度障害者の就労支援における課題について、寄せられる相談等を中心に工房の取り組みを活かし、対応の出来る所から取り組みを実施。</p> <p>① 特別支援学校への協力・情報提供 ・揖斐特別支援学校担当教諭より、視覚障害生徒への対応支援機器について相談</p> <p>・県立岐阜盲学校小学部担当教諭より、新入生徒への指導上で活用可能な支援用具/機器、導入事例等の相談と情報提供依頼</p> <p>・県立岐阜清流高等特別支援学校/R4年度人権教育職員研修会講師派遣</p>	<p>(A) 随時</p> <p>(B) 法人事務所及び電話</p> <p>(C) 2人+α</p>	<p>(D) 職業的自立・社会参加を目指す障害者</p> <p>(E) 不特定多数</p>	<p>1, 585</p>
<p>3 サポート事業</p> <p>③ 障害者の在宅就労に関する情報提供と助言指導事業</p> <p>⑤ ノーマライゼーション社会実現のための普及活動事業</p> <p>⑦ 障害者の就労と生活基盤の確保のための支援協力事業</p>	<p>(1) 岐阜県障がい者技能競技大会への協力とスタッフの派遣</p> <p>(2) 御嵩町教育委員会 生涯学習課「ふれあい人権講演会」 「障がいがあっても自分らしく生きる」講師派遣</p> <p>(3) (県)観光企画課「バリアフリー観光状況調査事業」における協議会の企画・開催</p>	<p>(A) 開催時(含、事前打合せ・会議)</p> <p>(B) ソフトピアジャパン</p> <p>(C) 1人</p> <p>(A) R4. 12. 3.</p> <p>(B) 御嵩町</p> <p>(C) 1人</p> <p>(A) 開催時(含、事前打合せ・会議)</p> <p>(B) ソフトピアジャパン</p> <p>(C) 1人</p>	<p>(D) 職業的自立・社会参加を目指す障害児者と家族、支援者・教員ほか</p> <p>(E) 不特定多数</p> <p>(D) 人権・障害者理解に関心がある一般ほか</p> <p>(E) 不特定多数</p>	<p>2, 377</p>
<p>4 研究開発参画事業</p> <p>⑥ 障害者のためのIT社会構築支援と研究開発参画事業</p>	<p>① 重度障害者の生活環境支援機器の研究・開発への参加(日本福祉大学健康福祉学科)</p> <p>② 36th. リハ工カンファレンス from 中国・四国支部(日本リハビリテーション工学協会)/on-line パネリスト参加</p> <p>③ ITサポートシンポジウム/on-line(日本障害者リハビリテーション協会)</p>	<p>(A) 随時</p> <p>(B) VRテクノC</p> <p>(C) 1人</p>	<p>(D) 職業的自立・社会参加を目指す障害児者と家族・支援者・教員・企業・団体ほか</p> <p>(E) 不特定多数</p>	<p>792</p>
<p>5 普及啓発事業</p> <p>⑧ 法人活動推進のための普及啓発事業</p>	<p>1) 広 報</p> <p>(1) ホームページ並びにFacebook 上での情報提供</p> <p>2) 社会資源整備に向けた調査・聞き取り・見学等の受け入れ、障害者の雇用・就労に関する会議・研修、アンケート等への参加</p> <p>① 「在宅就業障害者支援制度に関するアンケート」厚生労働省</p>	<p>(A) 随時</p> <p>(B) 法人事務所</p> <p>(C) 2人+α</p> <p>(A) 随時</p> <p>(B) 法人事務所</p> <p>(C) 2人</p>	<p>(D) 職業的自立・社会参加を目指す障害児者と家族・支援者・教員・企業ほか</p> <p>(E) 不特定多数</p> <p>(D) 職業的自立・社会参加を目指す障害児者と家族・支援者・教員・企業ほか</p> <p>(E) 不特定多数</p>	<p>792</p>

<p>その他          &lt;法人運営&gt;</p>	<p>1) 会議等の開催          (1) 総会 1回 (R4. 6. 15/on-line)          (2) 理事会 1回 (R4. 6. 2/on-line)          (3) 会議 スタッフ会議 毎週1回          (4) 在宅登録ワーカー定例ミーティング          年6回/隔月第4木曜日          ※(コロナ禍を顧慮し、オンラインにより実施)          2) 情報収集・連携業務(会議・研修・催し等への参加)          (1) 研修(on-line開催への参加)          ①全障テレネット on-line 会議3回(4/13、5/12、9/7)          ②令和3年度「民間教育訓練機関における職業訓練サービスの          質向上の取組支援事業」【職業訓練サービスガイドライン】          適合事業所認定・研修(厚生労働省外部企業委託)          ③障害者就労支援者研修「アセスメントの基礎」(10/26/zoom)          ④障害者就労支援セミナー「今求められる就労支援とは」          (10/31、11/22/zoom)          ⑤障害者就労支援セミナー 西濃圏域障がい者総合支援推進          会議(2/14/zoom)          ⑥ICTサポートシンポジウム(4th.) 日本障害者リハビリ          テーション協会(3/13/zoom)          ⑦ITを活用した在宅就労フォーラム かがわりハビリテ          ションセンター(3/15/zoom)</p>	<p>(A) 左記のとおり          (B) SJ会議室          (C) 2人+α            (A) 開催時          (B) 開催地とon-line          (C) 2人</p>	<p>(D) 法人          役員・会員          登録ワーカー、          在宅就業に関心          のある障害者・家          族・支援者ほか          (E) 不特定多数            (D) 職業的自立、社会          参加を目指す障          害児者と家族・支          援者・教員・企業          ・学生ほか          (E) 不特定多数</p>	
--------------------------------------	---	--	---	--

# 活 動 計 算 書

バーチャルメディア工房ぎふ

[税込] (単位: 円)

自 令和4年 4月 1日 至 令和5年 3月31日

【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	39,000		
賛助会員受取会費	20,000	59,000	
【事業収益】			
受託事業収益		11,768,338	
【その他収益】			
受取 利息		79	
経常収益 計		79	
【経常費用】			11,827,417
【事業費】			
(人件費)			
給料 手当(事業)	4,016,256		
職員諸手当(事業)	413,844		
法定福利費(事業)	436,784		
福利厚生費(事業)	27,456		
人件費計	4,894,340		
(その他経費)			
業務委託費	258,821		
諸 謝 金	96,000		
労務費(事業)	2,064,218		
印刷製本費(事業)	240,788		
会場費(事業)	2,700		
旅費交通費(事業)	441,352		
通信運搬費(事業)	76,545		
新聞図書費(事業)	19,800		
消耗品 費(事業)	110,901		
インターネット関連費(事業)	414,139		
水道光熱費(事業)	381,269		
共益費(事業)	767,520		
賃 借 料(事業)	274,560		
リース料	(105,600)		
駐車場代	(168,960)		
渉 外 費(事業)	6,410		
租税 公課(事業)	11,520		
研 修 費	6,165		
支払手数料(事業)	20,813		
その他経費計	5,193,521		
事業費 計		10,087,861	
【管理費】			
(人件費)			
給料 手当	1,004,064		
職員諸手当	103,440		
法定福利費	109,193		
福利厚生費	6,864		
人件費計	1,223,561		
(その他経費)			
諸 謝 金	24,000		
労務費	288,960		
印刷製本費	18,670		
旅費交通費	31,237		
通信運搬費	17,926		
消耗品 費	26,674		
水道光熱費(事業)	95,321		
共益費(事業)	191,880		
賃 借 料(事業)	68,640		

# 活 動 計 算 書

[税込] (単位: 円)

バーチャルメディア工房ぎふ

自 令和4年 4月 1日 至 令和5年 3月31日

リース料	(26,400)		
駐車場代	(42,240)		
渉外費(事業)	1,602		
租税公課(事業)	2,880		
支払手数料(事業)	4,377		
その他経費計	<u>772,167</u>		
管理費計		<u>1,995,728</u>	
経常費用計			<u>12,083,589</u>
当期経常増減額			<u>△ 256,172</u>
【経常外収益】			
経常外収益計			0
【経常外費用】			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			<u>△ 256,172</u>
当期正味財産増減額			<u>△ 256,172</u>
前期繰越正味財産額			<u>6,700,282</u>
次期繰越正味財産額			<u><u>6,444,110</u></u>

# 貸借対照表

バーチャルメディア工房ぎふ  
全事業所

[税込] (単位:円)  
令和5年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>		<b>【流動負債】</b>	
(現金・預金)		未払金	818,729
普通預金	3,911,013	預り金	7,584
定期預金	2,700,000	流動負債合計	826,313
現金・預金計	6,611,013	<b>負債合計</b>	<b>826,313</b>
(売上債権)		<b>正 味 財 産 の 部</b>	
未収金	659,410	前期繰越正味財産	6,700,282
売上債権計	659,410	当期正味財産増減額	△ 256,172
流動資産合計	7,270,423	<b>正味財産合計</b>	<b>6,444,110</b>
<b>資産合計</b>	<b>7,270,423</b>	<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>7,270,423</b>

# 財 産 目 録

バーチャルメディア工房ぎふ  
全事業所

[税込] (単位: 円)  
令和5年 3月31日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
普通預金		3,911,013	
定期預金		(3,911,013)	
現金・預金計		2,700,000	
(売上債権)			
未収金		659,410	
受託事業収益		(659,410)	
売上債権計		659,410	
流動資産合計			7,270,423
資産合計			7,270,423
		《負債の部》	
【流動負債】			
未払金		818,729	
社会保険		(39,624)	
事業経費		(197,238)	
給与等		(581,867)	
預り金		7,584	
給与源泉税		(7,584)	
流動負債合計		826,313	
負債合計			826,313
正味財産			6,444,110

(法第 28 条第 1 項関係)

令和 4 年度の年間役員名簿

令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 バーチャルメディア工房ぎふ

役職名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
理事長	上村 数洋		令和 4 年 4 月 1 日から 令和 4 年 5 月 31 日まで	報酬なし
理事長	一本木 一裕		令和 4 年 6 月 1 日から 令和 5 年 3 月 31 日まで	”
副理事長	上村 数洋		令和 4 年 6 月 1 日から 令和 5 年 3 月 31 日まで	”
理事	一本木 一裕		令和 4 年 4 月 1 日から 令和 4 年 5 月 31 日まで	”
理事	井村 保		令和 4 年 4 月 1 日から 令和 5 年 3 月 31 日まで	”
理事	篠田 義人		令和 4 年 6 月 15 日から 令和 5 年 3 月 31 日まで	”
理事	竹本 伊津子		令和 4 年 4 月 1 日から 令和 5 年 3 月 31 日まで	”
理事	古田 稔幸		”	”
監事	一色 光幸		”	”



(法第 28 条第 1 項関係)

令和 4 年度の社員のうち 10 人以上の者の名簿

令和 5 年 3 月 3 1 日現在

特定非営利活動法人バーチャルメディア工房ぎふ

氏 名	住所又は居所
平田 英毅	
苅谷 久爾	
青山 知幸	
古川 カヨ	
中根 啓如	
山家 潤	
黒田 智子	
三和 千佳子	
上村 数洋	
篠田 義人	